

平成30年度進捗評価シート
大館市歴史的風致維持向上計画（平成29年3月17日認定）

□進捗評価シート(様式1)

①組織体制(様式1-1)	
1 計画実施のための組織体制	1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)	
1 重点区域における良好な景観を形成する施策	2
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)	
1 桂城公園(大館城本丸跡)修景整備事業	3
2 一般国道7号(長倉地区)電線共同溝整備事業	4
3 主要地方道大館十和田湖線(御成町南地区)電線共同溝整備事業	5
4 道路美装化整備事業	6
5 大館城跡周辺の土居・緑地保全事業	7
6 大館八幡神社(重要文化財)保存補修事業	8
7 桜櫓館(登録有形文化財)保存補修事業	9
8 大館神明社保存補修事業	10
9 歴史的町なみ調査事業	11
10 秋田犬情報発信拠点整備事業	12
11 三ノ丸周辺歴史的資源拠点整備事業	13
12 大館神明社周辺環境整備事業	14
13 歴史的資源多言語表示案内板(史跡標柱)整備事業	15
14 大館城下の町名板整備事業	16
15 まち歩きマップ作成事業	17
16 趣のある風景・建造物ガイドブック作成事業	18
17 歴史案内人育成事業	19
18 小・中学校社会科副読本作成事業	20
19 無形民俗文化財・郷土芸能活動調査支援事業	21
20 地域づくり協働推進支援事業(愛称:地域応援プラン)	22
21 天然記念物(秋田犬)保存及び育成支援事業	23
22 伝統的工芸品(大館曲げわっぱ)活動支援事業	24
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)	
1 文化財の保存・活用と今後の方針・計画など	25
2 文化財の修理事業、文化財の周辺環境整備事業、防災に関する取り組みなど	26
3 文化財の普及・啓発に関する取り組み、埋蔵文化財の取り扱いに関する取り組みなど	27
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)	
1 歴史的建造物の専門家養成 大館(ほか1件)	28
⑥その他(効果等)(様式1-6)	
1 交流人口の拡大及び広域連携の促進	29

□法定協議会等におけるコメントシート(様式2)	30
--------------------------------	-----------

評価軸①-1
組織体制

	評価対象年度	平成30年度
項目	現在の状況	
計画実施のための組織体制	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容
 本計画の推進体制は、建設部まちづくり課が事務局を務め、庁内の経営会議や、関係課で構成する検討会等と連絡調整を行う。また国や県と協議を行い、助言や支援を得るとともに、大館市歴史的風致維持向上協議会において、計画の推進や計画変更、事業の推進について協議を行う。必要に応じて、文化財所有者や関係団体と協議や調整を図り、都市計画審議会や文化財保護審議会等への報告や助言を得ていく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

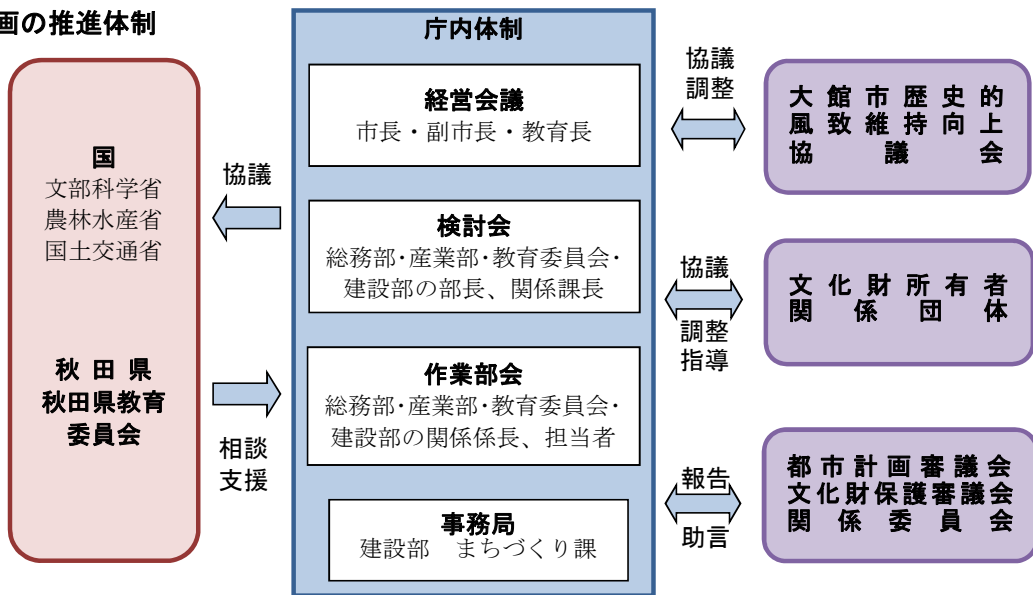
大館市歴史的風致維持向上計画の進行管理にあたり、大館市歴史的風致維持向上協議会を開催し、取り組み状況の報告及び事業の推進について協議を行った。大館市都市計画審議会ならびに大館市文化財保護審議会においても、取り組みや具体化方策を報告し、助言を得ることができた。

進捗状況 ※計画年次との対応

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述) 各協議会において、今後、事業の進捗に合わせ現地視察いただき、進行管理の助言を得る予定である。 また、市全体におけるまちづくりの推進にあたり、文化財保護、歴史研究会及びまちづくり協議会など各地域の関連団体と引き続き意見交換を重ねていく必要がある。
--	---

状況を示す写真や資料等

○計画の推進体制



○協議会等の開催状況

- ①大館市歴史的風致維持向上協議会 平成30年10月26日
- ②大館市都市計画審議会 平成31年 1月24日、平成31年 3月20日
- ③大館市文化財保護審議会 平成31年 3月26日



大館市歴史的風致維持向上協議会
(平成30年10月26日)



大館市都市計画審議会
(平成31年3月20日)

評価軸②-1

重点区域における良好な景観を形成する施策

	評価対象年度	平成30年度
項目	現在の状況	
重点区域における良好な景観を形成する施策 (1)都市計画法との連携 (2)景観法との連携 (3)屋外広告物法との連携	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容
 本計画の重点区域内で行う事業と連携しながら、構想を実現化するために、本市固有の自然や歴史、文化などの豊かな地域資源を活用し、市民協働で愛着が湧き、誇りを持てるまち育てを推進する。近年の市中心部の空洞化や、少子高齢化による市街地を取り巻く環境の変化を踏まえ、平成19年に策定したマスタープランにおけるまちづくりの課題や方針について見直しを図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

人口減少や少子高齢化などの課題を踏まえ、将来におけるまちづくりについて、都市再興協議会、まちづくりワークショップ及び地区別市民ワークショップを開催、またパブリックコメントの結果により、大館市都市再興基本計画(都市計画マスタープランの見直し・立地適正化計画・地域公共交通網形成計画)を平成31年3月に策定した。
 ①大館市都市再興協議会開催(全3回) ②地区別市民ワークショップ開催(全3回:延べ参加58人)
 ③まちづくりワークショップ開催(全4回、延べ参加106人) ④パブリックコメント結果(意見要旨数11件)

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

■計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない
 まちづくりを進めるにあたり、都市再興基本計画に基づき、課題の解決に向け、住民参画のワークショップを引き続き開催し、市民と一体となり市全体で魅力あるまちづくりの推進を目指す。

状況を示す写真や資料等

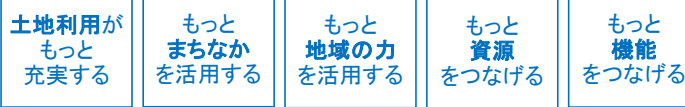
大館市都市再興基本計画

- ・都市計画マスタープラン(見直し)
- ・立地適正化計画
- ・地域公共交通網形成計画

良好な景観の形成に関する施策	策定期間(予定)
都市計画マスタープランの見直し	平成30年度策定完了
立地適正化計画	平成30年度策定完了
地域公共交通網形成計画	平成29年度策定完了
都市計画道路の整備方針の策定	平成30年度~令和元年度
景観計画の策定と景観条例の制定	令和2年度以降予定
屋外広告物の設置規制や条例の制定	令和2年度以降予定

まちづくりの理念・基本方針

未来を担う若者が主人公となるまちなか活用
 そこからつながる多世代が快適な暮らしづくり



良好な景観を形成する施策の策定スケジュール



第5回大館市都市再興協議会
 (平成31年2月22日)



第3回地区別市民ワークショップ
 (平成30年5月15日)

評価軸③-1 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	平成30年度 現在の状況
項目			
桂城公園(大館城本丸跡)修景整備事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間 平成23年度～令和8年度			
支援事業名 市単独事業			
計画に記載している内容	大館城本丸跡は、堀と土塁の一部が往時の面影を残している。令和2年度に完成予定の新庁舎との調和や景観の一体化を図り、城址公園にふさわしい景観形成を目指す。堀や土塁の修景整備を行うとともに、更なる賑わいの拠点となる公園の整備を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
・公園の景観を維持する管理業務を継続して実施した。 ①堀の清掃作業(年1回) ②公園の芝生管理(年4回) ・新庁舎建設にあたり桂城公園との調和を図る配置計画に考慮した実施設計が完成し、建設工事に着手した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
<p>○本庁舎建設実施設計完成(平成30年9月) 本庁舎建設工事着手(平成31年3月～)</p> <p>【配置計画】</p> <p>歴史ある桂城公園との調和、景観や機能の一体化を図り、街のにぎわい創出に繋がる配置計画を行います。</p> <p>□ まちの中心からまちを活性化する庁舎</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まちの中心「大館城跡」という場を活かし、「歴史まちづくり」を推進する、人と情報が集まる庁舎をつくります。 ・「歴史的風致維持向上計画」や周辺の史跡等をめぐる回遊性を重視した建物配置計画とします。 <p>□ まちとのつながり人が集まる配置計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・整備する「修景整備道路」に対し、公園内でつなぎ、新たな回遊性をつくる庁舎の配置や動線とします。 ・庁舎がまちと多様なアプローチで結ばれることで、市民が集まり、まちを元気にする賑わいが生まれます。 <p>□ まちの景観を象徴する庁舎</p> <ul style="list-style-type: none"> ・桂城公園に面して開放的な「市民協働スペース」を配置し、様々な方向から気軽にアクセス可能とし市民活動による賑わいが生まれる配置計画とします。 ・公園側に大館城や堀を庁舎と共に現代的に再生した「水盤」を整備します。 		 <p>完成パース図</p>	
 <p>歴史まちづくりの中心イメージ</p>		<p>○公園施設の修景整備状況 通年維持管理の継続</p>  <p>堀に繁茂している葦の刈り払い(作業状況)</p>  <p>公園内の芝生管理(完了後)</p>	

評価軸③-2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成30年度 現在の状況
一般国道7号(長倉地区)電線共同溝整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成27年度～令和3年度

支援事業名 道路関係/国直轄/電線共同溝事業

計画に記載している内容 一般国道7号は、城下町を通過するとともに、大館神明社例祭時には、御神輿巡行や山車運行の順路となっていることから、町なみの良好な景観や快適な歩行空間を確保するため、無電柱化の整備を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成29年度 下り線220m電線共同溝本体工事(管路)完了
 平成30年度 下り線140m電線共同溝本体工事(管路)完了
 令和元年度以降 電線共同溝本体工事(管路)を推進

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

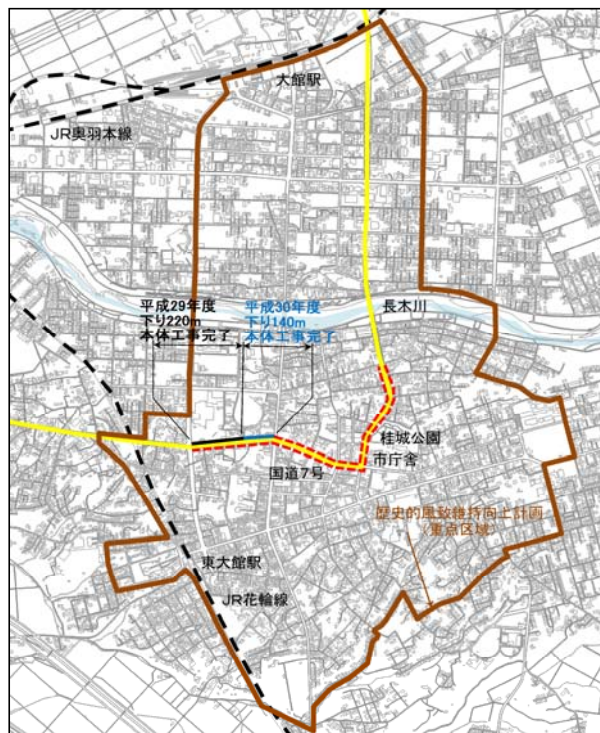
状況を示す写真や資料等



電線共同溝本体工事(着手前)



電線共同溝本体工事(完了後)
 ※歩道部舗装の美装化は最終年度に施工予定



無電柱化整備箇所(位置図)

評価軸③-3
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成30年度
項目	現在の状況	
主要地方道大館十和田湖線(御成町南地区)電線共同溝整備事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成18年度～令和4年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(道路事業)

計画に記載している内容 主要地方道大館十和田湖線は、大館神明社例祭時には山車合同運行の順路となり、また伝統行事の会場となっていることから、町なみの良好な景観や快適な歩行空間を確保するため、歩道の整備と一体で無電柱化の整備を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

電線共同溝設計成果に基づき、当該道路の管理者である秋田県に道路工事施行申請をし、承認を得た。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

区画整理事業区域内のため、土地利用が流動的な箇所もあり、宅内引込管の位置を関係者へ確認しながら決定する。

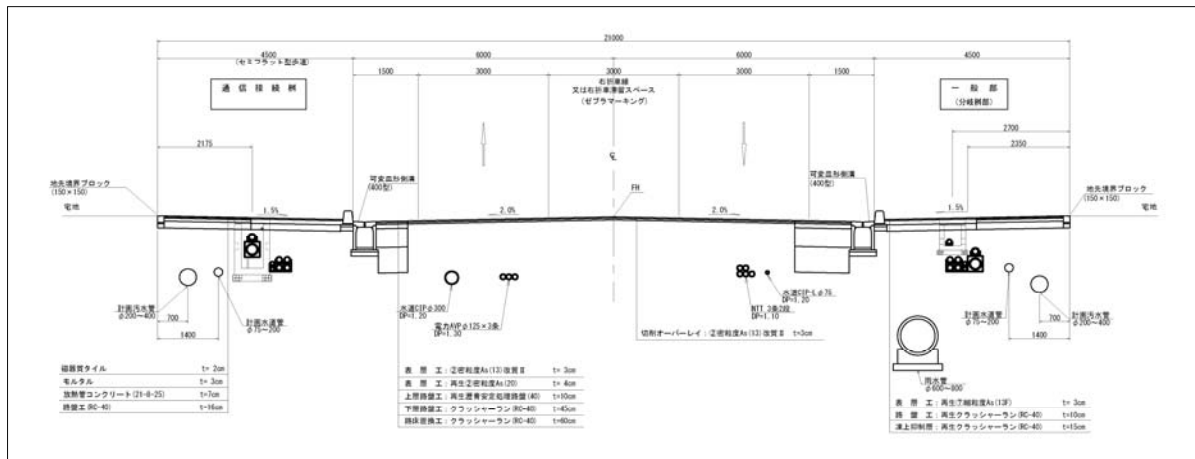
状況を示す写真や資料等



現在の状況写真
(複数の電線の横断状況)



現在の状況写真
(未整備の歩道空間)



計画標準断面図

評価軸③-4

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	平成30年度 現在の状況
道路美装化整備事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成29年度～令和8年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業) 市単独事業		
計画に記載している内容	大館城下の町割りが残る市街地には、歴史的建造物が点在し、城下町特有の鉤型や袋小路の道路が入り組んでいる。城下町を巡るまち歩きをする際の、回遊性の向上を図るため、路面舗装の美装化を行う。また、街路樹の樹形を整えとともに、植樹帯の整備を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
新富町、新開地地区の桜並木通りの道路修景にあたり、歴史的建造物である料亭の所有者や、地元町内会と整備に向け、意見交換を重ねてきた。桜並木通りの植樹帯及び路側側溝の修景工事に先駆けて、桜並木のテング巣病に罹患した枝の剪定ならびに道路空間に支障となる枝の除去を完了した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	電線類地中化の代替となる計画として、電柱等の占用物件の統合及び周辺環境に調和を図るため、電柱の修景を行う予定である。		

状況を示す写真や資料等

○関係者との意見交換会及び桜再生会議の開催状況

- ①桜再生会議 平成30年 5月30日(11人)、平成30年10月31日(10人)
- ②桜並木通り(事業説明会) 平成30年 8月20日(10人)
- ③美装化予定地区(意見交換会) 平成30年10月 5日(12人)



桜再生会議(樹木医と意見交換)
(平成30年5月30日)



桜並木通り修景(事業説明会)
(平成30年8月20日)



美装化予定地区(意見交換会)
(平成30年10月5日)

- 平成30年度 桜並木通り15本(テング巣病罹患枝、道路空間支障枝除去)完了
植樹帯再構築及び路側側溝修景工事着手(繰越施工)
- 令和元年度 道路占用物件(電柱)統合及び電柱修景整備予定
路面舗装美装化予定



テング巣病罹患枝の除去



切り口へ防腐剤の塗布



剪定後の開花状況

評価軸③-5
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成30年度 現在の状況
大館城跡周辺の土居・緑地保全事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成29年度～令和8年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 北側の市街地から大館城を望むと、東の重要文化財八幡神社から西の愛宕神社まで緑の斜面が続き、往時の面影を偲ぶことができる。引き続き、桜などの樹木を適切に管理し、良好な景観の維持を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

大館城跡の桜の樹勢回復のため、約80本につき施肥を実施した。このうち10本について、小学生約80人の協力を得て桜への「お礼肥」として作業を行った。
あわせて、北側斜面の景観を保全するにあたり、桜の剪定を実施するとともに、斜面の刈り払いを実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

○「御礼肥(おれいごえ)」・桂城公園の桜

- (1)開催日 平成30年5月17日
- (2)参加者 桂城小学校5・6年生(約80人)
- (3)桜本数 桂城公園内140本のうち80本
- (4)御礼肥 “今年の開花に感謝し、来年の満開に願いを込めて”
桜の根元を掘り、2種類の肥料を施肥



施肥作業(桂城小学校児童)

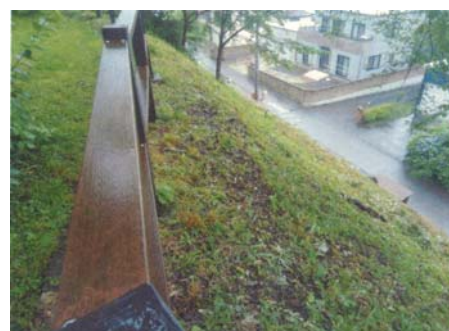


看板設置(桂城公園)

○大館城跡周辺の緑地保全



公園内の桜剪定(作業状況)



北側斜面の刈り払い(完了後)

評価軸③-6
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成30年度 現在の状況
大館八幡神社(重要文化財)保存補修事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成29年度～令和元年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)
(重文)八幡神社防災・耐震対策重点強化(防災施設等)事業

計画に記載している内容 重要文化財八幡神社(正八幡宮本殿・若宮八幡宮本殿)を保護する覆屋は、老朽化が進んでいることから、本殿を保全するための対策に取り組む。覆屋の改修にあたっては、できるだけ参拝者が本殿を拝観しやすい構造も考慮しながら、本殿を安全に管理できるように整備を行う。あわせて重要文化財への延焼を防ぐ防火対策の整備を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

重要文化財本殿二棟を保護する覆屋建替工事の実施設計が完了した。あわせて、老朽化している建造物群の拝殿・幣殿補修工事に向け、実施設計が完了した。

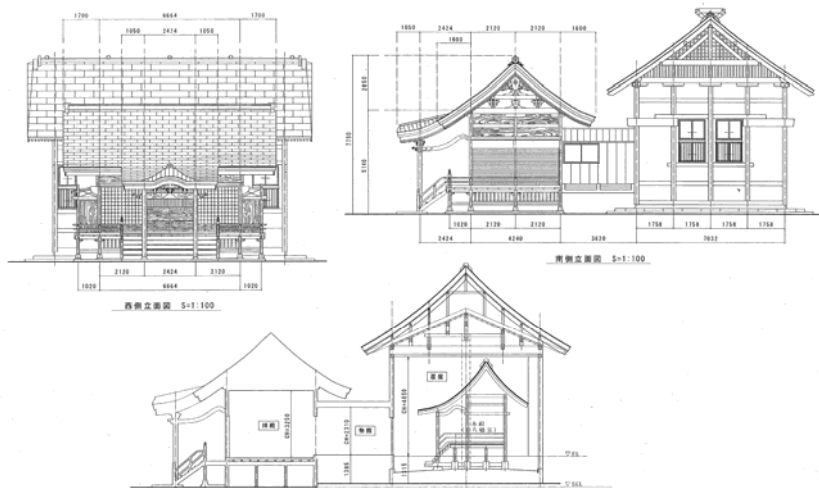
進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

覆屋建替工事に着手するにあたり、重要文化財本殿二棟の養生計画に基づき、影響を及ぼさないよう整備する。

状況を示す写真や資料等



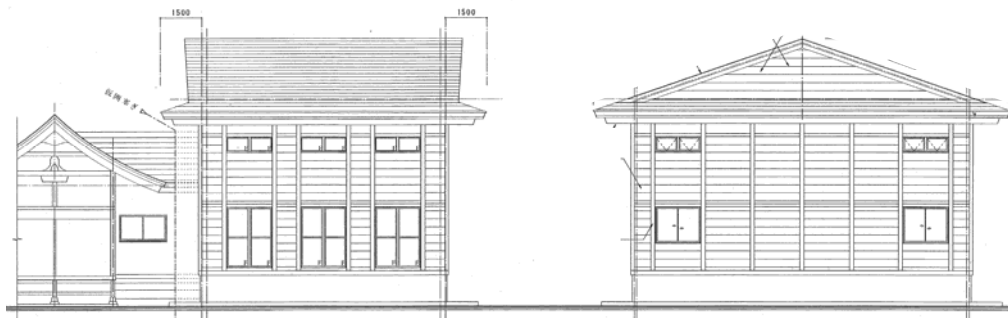
八幡神社建造物群(拝殿・幣殿・覆屋)現況立面図



現況写真(正面から撮影)



現況写真(南側から撮影)



覆屋建替 立面図 (実施設計:完成イメージ図)

評価軸③-7

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成30年度 現在の状況
桜櫓館(登録有形文化財)保存補修事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成29年度～令和2年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 個人が所有管理している登録有形文化財について、施設の市有化を図り、大事に管理されてきた建造物の保存補修を行う。また、市庁舎や桂城公園に隣接していることから、市民や来訪者が建造物を見学できる環境整備や多様な利用を促進する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

施設の市有化に向け、平成30年9月に土地、建物等の買い取り及び所有権移転が完了した。多様な利用促進にあたり、耐震改修が必要となることから、耐震診断に必要な予備調査を完了した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	文化財の耐震改修にあたり、意匠等に大きな影響を及ぼさない補強工事が必要となるため、有識者等の意見を反映し、実施設計を進める。

状況を示す写真や資料等



耐震予備調査(東側立面図)

耐震予備調査(南側立面図)

○耐震予備調査結果(建物の接合部及び耐力要素)



火打ち梁接合部



桁継手の帯金物補強



2階座敷梁に渡された火打梁

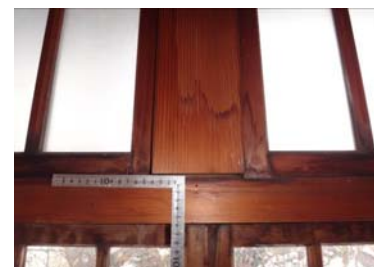
○耐震予備調査結果(建物の劣化状況)



土台欠損部の腐朽の跡



玄関ホールに面する柱の傾斜



同束と鴨居の隙間

評価軸③-8
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成30年度 現在の状況
大館神明社保存補修事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成29年度～令和2年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 大館神明社は、藩政期から町人町の鎮守社であり、例祭は本市を代表する秋祭りとして受け継がれている。例祭が執り行われる本殿を含む建造物群の老朽化が進んでいることから、関係者と協議しながら建造物の文化的価値が失われないように保存補修に取り組む。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

大館神明社本殿は、過去の曳家が原因で、盛土基礎ブロックが傾いていたことから、化粧型枠を使用した景観に配慮した鉄筋コンクリート擁壁の再構築が完了した。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

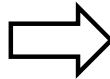
- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

○本殿盛土基礎擁壁の再構築(平成30年度施工完了)



本殿盛土基礎ブロックのクラック、傾斜(着手前)



本殿盛土基礎擁壁の再構築(完成後)
化粧型枠を使用した表面仕上げ



本殿盛土基礎擁壁工(完成平面図)

評価軸③-9
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成30年度 現在の状況
歴史的町なみ調査事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成30年度～令和8年度

支援事業名 文化遺産総合活用推進事業
市単独事業

計画に記載している内容 城下町を中心とする市街地には、度重なる大火を免れた歴史的建造物が残っているが、これまで十分な調査が行われず、詳細な内容が把握されていないため、建築様式などの詳細調査を行う。
歴史的建造物などの建築工法の調査や修理には、高度な専門知識が必要であるため、ヘリテージマネージャーの育成を目指すとともに、その養成活動に対して支援を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

ヘリテージマネージャー養成講座13回開催し、26人が資格を修得した。
第1回(平成30年5月12日)～第13回(平成30年12月1日)

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

ヘリテージマネージャー養成講座で、知識を修得した会員から構成する団体から、歴史的建造物の保全活用や、まちなみ景観等の推進に向け一緒に取り組んでいく予定である。

状況を示す写真や資料等

○ヘリテージマネージャー養成講座



講習会の受講状況



建造物の調査状況(桜櫓館)



養成講座実施報告書(私が見つけた歴史的建造物)

○歴史的建造物調査等委託(令和元年度以降整備予定)

ステップアップ活動計画

- ①歴史的建造物調査報告書作成: 割烹末広
- ②歴史的建造物地域別調査: 比内地域、十二所地区
- ③歴史的建造物保存調査・提案: 地域の神社など



調査予定歴史的建造物(割烹末広)

評価軸③-10

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成30年度 現在の状況
秋田犬情報発信拠点整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成28年度～令和3年度

支援事業名 秋田県市町村未来づくり協働プログラム(県補助)
社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)

計画に記載している内容 市の玄関口である大館駅の駅前広場にある忠犬ハチ公銅像と秋田犬群像は、市民に親しまれ、来訪者を迎えている。毎年4月にハチ公の慰霊祭、10月に生誕祭が開催され、市民の活動が現在も続いている。大館市観光交流施設「秋田犬の里」の整備を行い、天然記念物秋田犬の歴史や文化を情報発信する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

大館市観光交流施設「秋田犬の里」の整備が完了した。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

天然記念物秋田犬の歴史や文化を国内外へ情報発信し、あわせて賑わいの創出につなげる必要がある。

状況を示す写真や資料等



大正時代の渋谷駅をモチーフにした「秋田犬の里」完成



施設内部(秋田犬展示室)



施設内部(秋田犬ミュージアム)

評価軸③-11

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成30年度 現在の状況
三ノ丸周辺歴史的資源拠点整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 令和元年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 大館城跡の三ノ丸周辺には、秋田犬の歴史を知ることができる秋田犬会館、本丸跡を眺める秋田犬銅像や狩野亨吉の生家跡の庭園があり、多くの市民や観光客が訪れる。しかし、愛宕神社などの歴史的資源へのまち歩き拠点となる駐車場が近隣に少ないため、駐車場を兼ねた多目的広場の整備を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和元年度の整備に向け、関係者と工程等の協議を実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

○三ノ丸地区駐車場整備内容

- ①駐車場の舗装(面積約660㎡、乗用車28台駐車確保)
- ②駐車スペースライン
- ③車止め設置



三ノ丸地区駐車場整備位置図



三ノ丸地区駐車場整備箇所(写真)

評価軸③-12

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成30年度 現在の状況
大館神明社周辺環境整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成29年度～令和2年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 大館神明社の例祭では各講の大きな山車が、境内に参拝のため集結することから、周辺から出入りする環境を整えとともに、山車のスムーズな運行と来訪者が安全に観覧できるように、駐車場を兼ねた広場を整備する。また、境内には石碑や記念碑などが多数存在することから、市民や来訪者が周遊できる散策路などを整備してその活用を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

大館神明社境内整備に向け、実施設計が完了した。
大館神明社例祭余興奉納行事の開幕を告げる余興奉納奉告祭が50年ぶりに拝殿で執り行われた。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

境内における山車通路、駐車場の整備にあたり、周辺環境との調和を図る必要がある。

状況を示す写真や資料等

○大館神明社境内整備計画図(令和元年度以降整備予定)

散策通路の整備

景観フェンスの設置

お堀のせせらぎの再生

山車の参拝通路や駐車場整備

参道の美装化(石畳風)

駐車場(広場)

通路新設

参道(石畳風)

記念碑・石碑の移設

散策路整備

せせらぎの再生

整備完成イメージ図

評価軸③-13

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成30年度
項目	現在の状況	
歴史的資源多言語表示案内板(史跡標柱)整備事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成27年度～令和2年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 地域に点在する歴史的資源への案内が不十分であり、また歴史的資源の管理者が不在の場合、市民や来訪者への対応が困難となっている。外国人観光客を含めた来訪者への対応として、多言語表示及びQRコード付の案内板や史跡標柱の整備を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

大館市どこでも博物館の会と連携し、教育振興や観光振興等を図るため、市内の由緒ある歴史的資源(史跡)に多言語対応QRコード付きの標柱を設置し、情報発信を図った。また、リンク先のホームページ用の説明文について、写真や図を取り入れて充実を図った。

- ・平成28年度 17カ所、平成29年度 9カ所、平成30年度 5カ所
- ・多言語対応「日本語、英語、中国語(繁体語・簡体語)、韓国語、タイ語」

進捗状況 ※計画年度次の対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

歴史的資源(資源)から、次の史跡までの案内の充実が必要である。

状況を示す写真や資料等

○史跡標柱設置箇所(平成30年度実績)

NO.	標柱名称(設置力所)
1	大館神明社
2	大館愛宕神社
3	実相寺の唐糸・釈迦内伝説
4	大滝温泉・大滝薬師神社
5	秋田犬の里

平成30年度史跡標柱設置力所

○平成30年度全国商工会議所きらり輝き観光振興奨励賞 受賞

大館商工会議所(秋田県)

～どこでも博物館事業～

奨励賞

未来を拓く
商工会議所

受賞者概要

- 大館市内全域を博物館に見立て、名所・史跡等にスマートフォンなどで情報を得られるQRコード付き標柱設置を市に提案。
- 大館商工会議所が中心となり2015年、官民協働で「どこでも博物館の会」を設立。観光振興、教育振興、産業振興に寄与することを目的とした標柱設置事業を実施している。
- 2016年4月に地域連携DMO「一般社団法人 秋田犬ツーリズム」が設立。(社長に大館商工会議所会頭が就任)連携しながら地域活性化を推進中。

功績点

1.標柱設置の効果

- ・2018年度に標柱設置は30力所超となり、来年度以降も設置継続の予定。
- ・市民がふるさとについて知り、再発見し、郷土に対する誇りや郷土愛を育んでもらうことに寄与している。
- ・小学生に配布している「ふるさと大館名所手帳」にどこでも博物館を活用した情報を掲載予定。PTA親子学習会での活用等、ふるさとキャリア教育にも活用されている。

2.インバウンドへの取り組み

- ・標柱のQRコードを読み取りで5つの外国語(英語、中国語簡体字、中国語繁体字、韓国語、タイ語)に対応。5言語で訪日外国人の85%以上をカバー。
- ・標柱設置により、街歩きを促すとともに、市内バスマップに掲載することにより、バス利用促進にも活用されている。

3.2年間の取り組みが地域にもたらした効果

- ・標柱は着地型観光における重要なツールとなっており、秋田犬ツーリズムが進めている「交流人口拡大」「インバウンド取り組み」を後押しするコンテンツとなりうる。
- ・地域の観光入込客数は14%増、日本人宿泊数は11%増、外国人宿泊数は119%増と成果が始まっている(2014年から2017年の比較)。



標柱上部にはQRコード付きの説明板



設置箇所の一つで矢立峠に建つイザベラ・バード記念碑。日本奥地秘行では日本で見たどの時よりもこの峠を褒め称えたいとしている



秋田犬人気と共に交流人口拡大を後押しするコンテンツに

日本商工会議所ホームページより抜粋

評価軸③-14

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成30年度
項目	現在の状況	
大館城下の町名板整備事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成30年度～令和4年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)
市単独事業

計画に記載している内容 大館城下の名残がある町名は現在も数多くあるが、大館城の位置や規模のほか、町名の由来があまり認識されていないため、QRコード付の町名板の整備を行う。
まち歩き的回遊性の向上を図るため、形状や意匠を統一する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成30年度整備に向け、先に整備を進めている「どこでも博物館事業」と形状や意匠の統一を図る。
大館城門跡の史実確認が必要なため、歴史風致維持向上協議会に説明文の作成を依頼した。その史実確認に日数を要したことから繰越施行とした。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

○どこでも博物館(史跡標柱)との連携

- ①かねてより整備中の「どこでも博物館」の標柱とデザインの統一化を図る
- ②多言語翻訳(英語、韓国語、中国語(簡体)、中国語(繁体)、タイ語)対応
- ③WEB情報を「どこでも博物館」のホームページに掲載

○平成30年度(繰越)設置箇所

NO.	設置予定箇所
大館城門跡(7箇所)	
①	大手門跡 (おおてもんあと)
②	東門跡 (ひがしもんあと)
③	西門跡 (にしもんあと)
④	穴門跡 (あなもんあと)
⑤	搦手門跡 (からめてもんあと)
⑥	中城門跡 (なかじょうもんあと)
⑦	虎門跡 (とらもんあと)
歴史的建造物(4料亭/幸町地区)	
⑧	北秋くらぶ
⑨	末広
⑩	吉野家
⑪	濱家



大館城門跡位置図(大館城下絵図)

評価軸③-15

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成30年度 現在の状況
まち歩きマップ作成		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成30年度～令和3年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 市民や来訪者が、城下町にある文化財や歴史的建造物を巡る際に利用できるまち歩きマップを作成する。マップには、まち歩きのルートや所要時間のほか、城下町の魅力を掲載し、見て楽しめる内容とする。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

大館市の歴史まちづくりのパンフレット作成にあたり、維持向上すべき六つの歴史的風致、城下絵図のほか、秋田犬と出会えるスポットを掲載した。パンフレットは2,000部作成し、主要観光施設などに配布し、来訪者へ提供した。また、大館市の歴史まちづくりクリアファイルを500部作成した。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

来訪者が点在する歴史的資源を巡るにあたり、回遊性の向上を図るため、滞在時間によるルートや、公共交通の利用を含めたルート設定を検討する。

状況を示す写真や資料等



大館市の歴史まちづくりパンフレット(A3版観音折り)



大館市の歴史まちづくりクリアファイル(A4版両面)

評価軸③-16

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成30年度
項目		現在の状況
趣のある風景・建造物ガイドブック作成事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成30年度～令和3年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 市中心部にある城下町から離れた地域には、本市が誇るべき趣のある田園や山並みの風景、建造物などが数多く存在する。そこで、その地域における歴史や文化に光をあて、市民と一体となって、地域の魅力を発信できるガイドブックを作成する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

ガイドブックの作成にあたり、「あなたが残したい営みと風景」をテーマに、歴まちフォトコンテストを実施し、59作品の応募があった。歴史的風致維持向上協議会で審査を行い、歴まち大賞、歴まち賞の2点について、実践発表会で表彰した。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

ガイドブック作成にあたり、資料収集のため、平成30年度に引き続き、歴まちフォトコンテストを行う。

状況を示す写真や資料等

○大館市歴史まちづくりフォトコンテスト

テ ー マ	あなたが残したい営みと風景
募 集 期 間	平成30年4月9日～平成30年10月12日
応 募 総 数	59作品
審 査 方 法	歴史的風致維持向上協議会
表 彰	歴まち大賞(1作品)、歴まち賞(1作品)

大館市歴史まちづくり
 フォトコンテスト作品募集
 四季を通じて大館市の歴史と魅力を伝える1枚を募集します。
 募集期間 平成30年4月9日(月)～平成30年10月12日(金)
 テーマ あなたが残したい営みと風景

◎画像募集の趣旨
 大館市民の営みや趣ある風景を後世へ継承するため、地域の魅力を伝える画像を募集します。ご応募いただいた画像をもとに、まち歩きマップやガイドブックなどを作成します。たくさんのご応募をお待ちしています。

◎応募作品
 ・画像データ(デジタルカメラ、スマートフォン、携帯で撮影した画像データまたはフィルムカメラで撮影し、スキャナで作成した画像データ)
 ・画像データの1作品あたりのファイルサイズは7MB以下。
 ・ファイル形式は必ずJPEGとしてください。
 ※本人が撮影した未発表の作品で、著作権が第三者に帰属していないものに限り。加工・合成処理した写真は応募できません。

◎応募資格
 ・プロ・アマチュア、年齢を問わず、どなたでも応募できます。

ハチ公慰霊祭(大館駅前)

フォトコンテスト作品募集チラシ



歴まち大賞
 (厳冬 薄明の参道)



歴まち賞
 (大ヤナギに憩う)

評価軸③-17

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成30年度
項目		現在の状況
歴史的案内人育成事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成29年度～令和8年度

支援事業名 生涯現役促進地域連携事業
市単独事業

計画に記載している内容 市民や来訪者向けに、地域に残る歴史的資源や歴史・文化について語ることができる案内人を育成するため、講習会や現地視察などの研修を実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

継続開催している歴まち散歩において、東北巨木研究会の協力をいただき、地域資源の巨木を巡るコースを企画したところ、多数の参加者から好評を得た。
また、大館市高齢者活躍支援協議会が事業主体となり、2回にわたり歴史や観光などの案内人養成講座を行った。
・第1回目養成講座(8人受講)、第2回目養成講座(10人受講)

進捗状況 ※計画年度との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

養成講座を受講された方々が案内できる機会を構築し、情報発信につなげる。

状況を示す写真や資料等

巨木を巡る歴まち散歩(探訪コース)

- | | |
|--------------|-------------|
| 1. 桂城公園の大ヤナギ | 13:00～13:30 |
| 2. 別所大日神社の杉群 | 14:00～14:20 |
| 3. 天空の松 | 14:40～15:40 |
| 4. 出川の樺(けやき) | 16:10～16:30 |



巨木を巡る歴まち散歩 平成30年6月23日(参加者30人)
案内人:東北巨木研究会(桂城公園の大ヤナギ前)

観光案内人講座1回目～ふるさと大館探究講座～

日程	日時	講座内容
1日目	平成30年7月18日(水) 13:15～16:00	・人に伝えるとは? ・大館市の歴史
2日目	平成30年7月20日(金) 13:15～15:30	・施設概要とまつわる著名人
3日目	平成30年7月23日(月) 13:15～15:30	・大館市の特産品 ・大館市の行事と祭り
4日目	平成30年7月25日(水) 10:45～15:30	・大館の魅力を体験
5日目	平成30年7月27日(金) 10:45～14:30	・大館の魅力を伝えてみよう ～模擬案内体験～



養成講座の様子(10人受講)
(平成30年11月8日)

観光案内人講座2回目～ふるさと大館探究講座～

日程	日時	講座内容
1日目	平成30年10月30日(火) 13:15～15:30	・人に伝えるために ・大館市の歴史
2日目	平成30年11月1日(木) 10:15～16:30	・フィールドワーク
3日目	平成30年11月6日(火) 13:15～16:00	・大館のいいもの、おいしいもの ・秋田犬とハチ公について
4日目	平成30年11月8日(木) 10:15～15:00	・大館の魅力を伝えよう!

評価軸③-18

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成30年度 現在の状況
小・中学校社会科副読本作成事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 昭和43年度～令和8年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 未来の大館市民を育成する「ふるさとキャリア教育」の一環として、小中学校の児童生徒が本市の歴史や暮らしについて、より理解を深めることができる分かりやすい社会科副読本を作成する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

大館ふるさとキャリア教育の一環として、子どもハローワークにより、地域・企業が行う仕事やイベントのお手伝い、ボランティアへの参加などの体験を子どもたちに紹介している。子どもハローワークの取り組みを掲載した、「みんなのまなびしんぶん」第166号～第215号を発行した。
 ・平成30年度子どもハローワーク参加者(約1,900人)

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

○大館市ふるさとキャリア教育 ～学校と地域社会をつなぐ～
 子どもハローワークの取り組み紹介(みんなのまなびしんぶん)



子どもハローワーク ふるさと名所ツアーガイドボランティア

本場大館きりたんぼまつりに合わせて開催されている「ふるさと名所ツアー」。このツアーをお手伝いするのは、北陽中学校学芸部のみなさんと成章中のみなさんです。取組を紹介します！！



北陽中学校は鳥潟会館でガイドのお仕事とお茶会のお手伝いをしました。来所した方々にお茶のおもてなしをして喜ばれました。成章中は、大館市曲田にある北鹿ハリストス正教会で、建物や飾られているアイコンなどの説明をしました。



大館市教育委員会教育研究所 子どもハローワーク

ふるさと名所ツアーガイドボランティア

県指定文化財(北鹿ハリストス正教会聖堂・鳥潟会館)を説明
 平成30年10月7日実施(北陽中・成章中24名参加)

評価軸③-19

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成30年度
項目		現在の状況
無形民俗文化財・郷土芸能活動調査支援事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 昭和59年度～令和8年度

支援事業名 文化遺産総合活用推進事業
 伝統文化親子教室事業(地域展開型)
 市単独事業

計画に記載している内容 市内には、詳細な調査や研究がなされていない郷土芸能が数多く残っている。無形民俗文化財の保護活動を継続している団体や大館市郷土芸能保存協会と課題を共有し、活動を継続するために必要な支援を行う。また、次代を担う子どもたちへ、郷土芸能や生活文化などを体験できる機会を提供する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

民間4団体から構成する「大館市文化遺産活用まちづくり実行委員会」において、情報発信事業で文化遺産ホームページやパンフレット作成、後継者養成で大館囃子講習会の活動を行った。
 また、文化財を活用した体験を通し、次代を担う子どもたちへ8講座の伝統芸能や生活文化の体験機会を提供し、地域文化を継承しつつ地域人材の掘り起こしを図った。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

平成30年度～令和4年度(5カ年)の事業期間中は、参加団体の募集を継続し、その都度事業内容を見直していく必要がある。

状況を示す写真や資料等

○文化遺産総合活用推進事業

	活動事業名	事業区分	平成30年度活動実績
1	文化遺産ホームページ作成	情報発信	概要版作成
2	文化遺産パンフレット作成	情報発信	日本語版作成(30頁) 6,000部
3	ヘリテージマネージャー育成	人材育成	養成講座13回開催 26人資格修得
4	秋田の祭囃子シンポジウム開催	普及啓発	祭囃子シンポジウム開催 30人参加
5	大館囃子教則映像記録	記録作成	映像記録・編集 DVD作成(100部)
6	大館囃子講習会開催	後継者養成	講習会9回開催 370人参加



左:文化遺産パンフレット
 右:大館囃子教則映像(DVD)



大館囃子講習会
 (平成30年8月3日 約50人参加)



茶道講習会
 (平成30年12月16日 18人参加)
 会場:桜櫓館

○伝統文化親子教室事業(地域展開型)

	講座名	会場	開催数	参加人数
1	大館ばやし(太鼓)	大館神社	3回	38人
2	大館ばやし(手踊り)	大館神社	3回	30人
3	きもの文化(着付け・日本舞踊)	鳥潟会館	3回	52人
4	茶道	桜櫓館	3回	57人
5	華道	桜櫓館	3回	58人
6	代野番楽	桜櫓館	3回	17人
7	秋田犬の歴史	栗盛記念図書館 松下村塾	3回	21人
8	能楽(喜多流)	文化会館	2回	24人

評価軸③-20

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成30年度
項目	現在の状況	
地域づくり協働推進支援事業(愛称:地域応援プラン)	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成22年度～令和2年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 地域住民の「地域をもっと良くしよう」「住みやすい地域にしよう」という熱意のもとに、まちづくりや地域活性化に取り組む活動に対して支援を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成30年度地域応援プランにおいて、採択された5団体のまちづくりや地域活性化に取り組む活動に対して支援を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

○地域応援プラン取り組み活動(平成30年度実績)

項目	地域	地区	団体名	活動年数	活動テーマ	
1	活動支援	大館	雪沢	黒沢町内会	1年目	月夜見神社を中心とした、伝統行事・歴史的風致を継承させていくための環境・体制づくり
2		比内	比内	スポーツクラブひない	1年目	スポーツを通して、健康づくり・地域コミュニケーションの強化を図り、元気で活力あるまちづくりを目指す
3		大館	大館	御成町二丁目町内会	1年目	商店街として発展した歴史を誇りに、訪れたい・住みたい人の多い「憧れの街」ブランド化戦略によるまちの再興を図る
4		大館	大館	御坂町内会	1年目	防災対策を通じて、共助の意識の醸成・地域コミュニティの強化を図る
5		田代	岩瀬	羽貫谷地集落	1年目	集落センターでのミニディサービスを拠点とした、健康・生きがい・交流・環境・防災づくりを行い、住民が支え合う集落を目指す



鹿島様の人形づくり
(黒沢町内会による活動)



御成町二丁目大火50周年式典
(御成町二丁目町内会による活動)

評価軸③-21

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成30年度
項目	現在の状況	
天然記念物(秋田犬)の保存及び育成支援事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 昭和54年度～令和8年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 天然記念物秋田犬は、秋田犬保存会により保護や繁殖、普及活動が行われている。大館城本丸跡の桂城公園で開催している全国規模の本部展覧会には、市民や全国から愛犬家が訪れる。近年、登録されている秋田犬の減少や保存会の会員減少が課題となっていることから、その解決に向け取り組みを行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

秋田犬保存会は、第138回本部展を平成30年5月3日に開催した。初の試みとして約70席の無料観覧席を設置し、好評であった。
秋田犬博物室ならびに大館駅前の秋田犬ふれあい処の利用者は、秋田犬の人気の上昇により大幅に増加した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



第138回秋田犬本部展覧会(桂城公園)
平成30年5月3日
(北鹿新聞社提供写真)

	秋田犬博物室 (秋田犬会館)	秋田犬ふれあい処 (大館駅前)
1月	220	1,207
2月	424	1,123
3月	548	2,102
4月	1,705	2,439
5月	2,904	2,998
6月	2,290	2,631
7月	2,174	2,237
8月	3,593	4,679
9月	2,010	2,398
10月	2,003	1,552
11月	1,302	1,721
12月	518	1,087
計(人)	19,691	26,174

平成30年
 ・秋田犬博物室の観覧者数
 ・秋田犬ふれあい処の来場者数

	犬籍登録数(頭)				会員数(人)			
	国内	海外	計	増減	国内	海外	計	増減
平成27年	2,400	1,267	3,667		2,245	510	2,755	
平成28年	2,628	3,922	6,550	78.6%	2,217	819	3,036	10.2%
平成29年	2,704	3,967	6,671	1.8%	2,310	683	2,993	-1.4%
平成30年	2,541	2,284	4,825	-27.7%	2,460	612	3,072	2.6%

平成30年
 ・秋田犬犬籍登録数
 ・秋田犬保存会会員数の推移

評価軸③-22

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成30年度
項目		現在の状況
伝統的工芸品(大館曲げわっぱ)活動支援事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成21年度～令和8年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 伝統的工芸品の大館曲げわっぱの製造における基本的な技術は、伝統工芸士が受け継いでいる。大館曲げわっぱ協同組合と連携を図り、曲げわっぱの製作体験ができる工房の運営や、伝統工芸の継承活動、商品の販路拡大の支援を行う。また、原材料である天然秋田杉の供給が難しい現状を受け、代替となる原材料の安定的な供給が課題であるため、適材木の研究を推進する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

大館曲げわっぱ体験工房は、平成21年9月に開設され、丸弁当箱など3種の製作体験メニューを、県内外からの体験希望者に提供してきたが平成31年3月に閉館した。民間3社が新たに観光客を受け入れる環境を整えたことから、引き続き体験希望者への対応が可能となった。

また、原材料となる秋田杉の安定供給のため、「大館曲げわっぱ150年の森育成事業」を計画し、地元小学生と一緒に市有地に約3,000本の秋田杉の苗木を植えた。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

地域の伝統産業を次世代に継承していくため、今後も小学生が育成に携わり、学ぶ機会を提供する。

状況を示す写真や資料等

○大館曲げわっぱ体験工房(平成30年度利用実績)

平成30年度	工房見学者			曲げわっぱ体験				体験キット内訳			
	県内	県外	小計	団体数	県内	県外	小計	丸弁当	七寸盆	パン皿	小計
合計	398	1,451	1,849	170	150	407	557	391	21	83	495

○大館市森林整備計画の策定

- (1) 計画期間 平成30年度～令和10年度
- (2) 具体的な対策 ①「循環の輪」の創造
②「秋田スギ」ブランドの復活
③伝統的工芸品「大館曲げわっぱ」
- (3) 取り組み 「ケーススタディ地区」に選ばれ、モデルとなる重点プロジェクトに取り組む



○「大館曲げわっぱ150年の森」整備



地元小学生による杉苗の植栽
 (平成30年6月22日 参加者約90名)

評価軸④-1 文化財の保存又は活用に関する事項		評価対象年度	平成30年度 現在の状況
項目			
文化財の保存・活用と今後の方針・計画など		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	これまでの調査研究を生かしつつ、現状と実態の把握に努め、収集した情報をデータベース化する。文化財指定がふさわしいと判断されたものについては、市の指定に向けて取り組む。歴史的建造物は、以前に行われた調査の結果を活用し、詳細な調査を行う。無形民俗文化財については、次世代に伝えるための調査・記録保存を継続する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
・鳥潟会館庭園名勝地調査準備委員会を設立し、次年度からの国名勝指定を目指す取り組みの道筋を付けることができた。 ・ヘリテージマネージャー養成講座において、歴史的風致形成建造物指定候補にある料亭等の建造物について、調査研究を行い、指定に向けた基礎資料が整った。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない		・文化財の維持管理には多くの財源が必要で、所有(管理)者の負担も大きい。それだけに天然記念物の再生や、新たな重文を目指す取り組みには、多くの市民の理解や応援が必要であり、社会に還元するための活用にも考慮する必要がある。	
状況を示す写真や資料等			
<p>○鳥潟会館庭園の国名勝指定への取り組み(平成30年度実績)</p> <p>鳥潟会館庭園名勝地調査準備委員会設立</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成30年 5月27日 調査等の経緯を報告 今後必要となる資料を協議 現地視察 			
			
<p>○歴史的風致形成建造物指定候補の建造物調査(平成30年度実績)</p>			
			
歴史的風致形成建造物指定候補 旧料亭 濱家 (昭和9年築造)			

評価軸④-2 文化財の保存又は活用に関する事項		評価対象年度	平成30年度 現在の状況
項目			
文化財の修理事業、文化財の周辺環境保全事業、防災に関する取り組みなど			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
計画に記載している内容	文化財の修理にあたっては、法令等に基づき、また文化庁等の関係機関の指導を受けつつ整備を行う。また、修理事業等の支援や各種財団等の補助制度の活用について助言を行う。文化財の周辺環境については、周辺の環境と調和のとれたものとする。防災については、防災教育、訓練に取り組む必要があるため、文化財防火デーの取り組みにより、防火意識を高める。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
<ul style="list-style-type: none"> ・県指定文化財の鳥潟会館庭園の周囲のブロック塀が倒壊の恐れがあるため、解体撤去した。 ・文化財防火デーに重要文化財八幡神社で防火訓練を実施した。(参加者約40人) ・文化財の防犯体制の徹底について、所有者等に指導・助言を行った。 			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	・個人や民間団体が所有する文化財については、補助制度を活用しても相当の負担が必要であるため、修復等を行うのが困難な状況である。公共事業として周辺環境と一体に整備することが望ましい。		
状況を示す写真や資料等			
<p>○鳥潟会館庭園の危険ブロック塀の解体撤去</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>危険ブロック塀(撤去前)</p> </div> <div style="font-size: 2em;">➡</div> <div style="text-align: center;">  <p>危険ブロック塀(撤去後)</p> </div> </div>			
<p>○文化財防火デー防火訓練</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  </div> <div style="text-align: center;">  </div> </div> <p style="text-align: center;">文化財防火デー防火訓練状況 重要文化財八幡神社(平成31年1月26日) 参加者約40名</p>			

評価軸④-3
文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	平成30年度 現在の状況
文化財の普及・啓発に関する取り組み、埋蔵文化財の取り扱いに関する取り組みなど		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
文化財関係施設では、定期的なガイドツアーなどを行い、文化財への理解を深める機会を提供している。これまでの活動とあわせて、歴史案内人の育成や、講演会・シンポジウムを開催し、文化財の保護と活用の意識を高めるための事業に取り組む。また、埋蔵文化財包蔵地については、秋田県教育委員会の指導を仰ぎながら、開発に係る事業者などと十分な協議のうえ、その保存を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
・大館郷土博物館の企画事業(6事業及び活用事業を実施(計3,009人)) ・長走風穴クイズラリー・ガイドウォーク、鳥潟会館おひなさま展・ガイドウォーク、新春カルタ大会を実施(計788人) ・大館城跡発掘調査は3年目を終え、現地説明会を開催(計105人) ・発掘調査(2カ所)、試掘・確認調査(9カ所)を実施		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	・開発事業者に埋蔵文化財の保護の必要性がまだまだ浸透していない。様々な窓口と連携して、スムーズに埋蔵文化財の確認ができるように取り組む必要がある。	
状況を示す写真や資料等		

○大館郷土博物館(企画事業)

	企画事業名	企画内容	期間	入場者数
1	あきた埋文出張展示	片貝家ノ下遺跡のパネル展示	平成30年4月28日～6月24日	787人
2	あきた埋文考古学セミナー	講演「片貝家ノ下遺跡が語ること」	平成30年5月19日	59人
3	昭和～平成「ロマン派日本画展」	ロマン派の日本画44点を展示	平成30年7月27日～年8月26日	773人
4	天皇在位30年記念式典記念 無料開放デー		平成31年2月24日	81人
5	おひなさま展	慶応から平成の雛人形や押絵雛などを展示	平成31年2月8日～3月21日	1,020人
6	おひなさま茶会	茶道裏千家による呈茶の提供	平成31年3月3日	289人

○大館郷土博物館研究紀要第14号「火内」発行

内容「片山八坂神社資料の目録と解説」等



○大館城跡発掘調査現地説明会(平成30年10月13日)



評価軸⑤-1
効果・影響等に関する報道

報道等タイトル	年月日	評価対象年度	平成30年度 掲載紙等
歴史的建造物の専門家養成 大館	平成30年5月13日		北鹿新聞
守り育てる事例発表、歴まちフォトコン	平成30年10月28日		北鹿新聞

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

歴史まちづくりの具体化方策や歴まち散歩、また民間主導の市民活動について、地元紙に掲載され、計画の取り組みや進捗を広く周知することができた。

平成30年10月28日開催の第1回歴史まちづくり実践発表会は、「住んでよし・訪れてよしのまちづくりを探る」をテーマに開催した。建造物や伝統芸能を守り育てる活動をしている関係者10人の事例発表に、約100人の市民のほか、市外や県外から約30人が参加した。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

状況を示す写真や資料等



「地域之宝残すための知識」

大館市歴史民俗資料館で、市民向けに「地域の宝残すための知識」をテーマにしたセミナーを開催した。講師は、大館市歴史民俗資料館の職員が担当し、地域の宝の大切さや保存方法について詳しく説明した。参加者は、地域の宝の大切さを改めて認識し、保存に努める決意を述べた。

「歴まち」と連動 民間レベルの事業始動

大館市歴史民俗資料館が、民間レベルの事業を推進する「民間レベルの事業始動」をテーマにしたセミナーを開催した。講師は、大館市歴史民俗資料館の職員が担当し、民間レベルの事業の大切さや推進方法について詳しく説明した。参加者は、民間レベルの事業の大切さを改めて認識し、推進に努める決意を述べた。

「歴まち」と連動 民間レベルの事業始動

大館市歴史民俗資料館が、民間レベルの事業を推進する「民間レベルの事業始動」をテーマにしたセミナーを開催した。講師は、大館市歴史民俗資料館の職員が担当し、民間レベルの事業の大切さや推進方法について詳しく説明した。参加者は、民間レベルの事業の大切さを改めて認識し、推進に努める決意を述べた。

建造物、伝統芸能、歴史交流など 守り育てる事例発表

大館市歴史まちづくりで10人
大館市歴史まちづくり実践発表会が、秋田県立大館市立大で開かれ、参加者は歴史まちづくりの事例を発表し、交流を深めた。

ヘリテージマネージャー養成講座の開校式
(平成30年5月13日 北鹿新聞)
受講者26人

第1回歴史まちづくり実践発表会
(平成30年10月28日 北鹿新聞)
参加者約130人

- 歴史まちづくりに関連した報道記事(北鹿新聞)
- ・平成30年 4月14日 大館神社拝殿で奉告祭
 - ・平成30年 4月24日 ハチ公の駅建設開始
 - ・平成30年 5月 4日 秋田犬本部展覧会
 - ・平成30年 5月27日 歴まち散歩激戦地を巡る
 - ・平成30年 5月31日 桜再生会議
 - ・平成30年 6月12日 扇田神社遷座祭
 - ・平成30年 6月27日 どこでも博物館周遊目指す
 - ・平成30年10月27日 城門跡に標柱設置
 - ・平成30年11月 8日 伝統文化親子教室事業
 - ・平成30年11月28日 大館囃子「正調」の保存伝承
 - ・平成30年12月 2日 ヘリテージマネージャー講座修了
 - ・平成31年 2月21日 桜並木の修景着工
- ※北鹿新聞創刊100周年企画 古今「秋田犬」の特集記事

	評価対象年度	平成30年度
--	--------	--------

項目 交流人口の拡大及び広域連携の促進

計画に記載している内容 歴史的風致の維持及び向上する取り組みは、歴史や文化を活かした活力あるまちづくりにつながり、歴史的風致の価値が高まるとともに、地域活性化や交流人口の拡大が期待できる。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

・地域連携DMO(秋田ツーリズム)や3D(函館・大館・角館)の取り組みの促進
 ・奥州藤原氏を基軸とした広域連携の継続(平泉町・中尊寺・毛越寺〜横手市〜美郷町〜大館市・地元町内会)
 その結果、東北歴まち認定都市や、奥州藤原の縁を巡る都市、天然記念物秋田犬をフックに交流が続く都市、そして3D連携都市など、数多くの都市とのネットワークの中で交流を促進した。

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

□計画の進捗に影響あり
 ■計画の進捗に影響なし

状況を示す写真や資料等



○広域連携都市の位置

東北の歴まち認定都市や奥州藤原氏の縁を巡る都市とのネットワーク形成を目指している。
 また、函館を玄関口とする北海道と天然記念物秋田犬をフックに交流が続く渋谷区などの首都圏を結ぶ。



奥州藤原氏を縁とした物語発信
 (平成30年4月28〜29日 道の駅平泉)
 秋田犬ふれあい参加者約200名



農工商連携フォーラム
 秋田犬ツーリズムと製菓会社「ギンビス」共同開発
 スナック菓子「秋田の枝豆」
 平成30年10月31日 参加者約150名

14 秋田犬に魅せられる歴史・文化・体験の旅 👍 推奨

「函館」から「小坂町唐楽館」「大館」「角館」の「犬つながり」の街を巡る旅へ。

1日目 函館〜小坂町〜大館
 アカシア香る小坂町で明治時代にタイムトリップ

① 明治の芝居小屋「唐楽館」
明治43年建築の国重要文化財。年間400回を超える芝居を上演しています。☎0186-29-3732

② 繁栄の象徴「小坂鉱山事務所」
明治38年建築の国重要文化財。館内には鉱山の資料が展示しています。☎0186-29-5522

③ はちみつ
天然アカシア100%のはちみつは、上品な味わいが特徴です。

④ 日景温泉
森の中にある120年以上にわたり愛され続けている、肌にも優しい温泉です。☎0186-51-2011

2日目 大館〜角館
秋田犬のふるさと大館で、まるごとふれあい体験

⑤ 秋田犬(あきたいぬ)
日本犬で最初の天然記念物に指定された「秋田犬」。北犬(ハチ公)のふるさととして、本物の秋田犬をぜひ、写真をとったり、ふれあいを楽しめます。☎0186-42-2502

⑥ 秋田犬ふれあい施設
秋田犬ふれあい館 ☎0186-43-7072
秋田犬会館 ☎0186-42-2502

⑦ 大館曲げわっぱ体験工房
秋田杉を加工して製作する伝統工芸。弁当箱やお盆などの手作り体験ができます。☎0186-42-7502

⑧ 秋田内陸縦貫鉄道の旅
秋田杉を加工して製作する伝統工芸。弁当箱やお盆などの手作り体験ができます。☎0186-42-7502

3日目 角館〜田沢湖
歴史と文化に彩られる町角館と神秘を体感する田沢湖

⑨ 武家屋敷通り
みちのくの小京都「角館」には江戸時代から続く武家屋敷通りがあり、6軒の武家屋敷が公開されています。

⑩ 田沢湖
「たつと伝説」が残る水深1000mの神秘の湖。四季折々に表情を変え、異なる景色は必見です。

⑪ 乳頭温泉郷
7つの温泉をそれぞれ持つ湯元が点在する乳頭温泉郷。趣の異なる湯とロケーションを楽しめます。

※ 田沢湖は、7つの温泉をそれぞれ持つ湯元が点在する乳頭温泉郷。趣の異なる湯とロケーションを楽しめます。

〜秋田犬に魅せられる歴史・文化・体験の旅〜
 みなみ北海道×北東北観光ルートガイド
 「Goo-Route Hakodate(ぐる一と函館)より」
 函館市提供

大館市-29

法定協議会等におけるコメント

(様式2)

評価対象年度	平成30年度
・法定協議会等におけるコメント	
<p>コメントが出された会議等の名称 : ①第5回大館市歴史的風致維持向上協議会 ②第3回大館市歴史的風致維持向上協議会(建造物部会)</p>	
<p>会議等の開催日時 : ①平成30年10月26日(金)午後1時30分～午後3時00分 ②平成31年 4月17日(水)午後1時30分～午後3時00分</p>	
<p>(コメントの概要)</p> <p>○どこでも博物館(史跡標柱整備)と城下町名標柱の整備にあたり、設置するだけでなく、来訪者が町を巡るルートの設定を検討すべきである。</p> <p>○城門跡の名称や位置については、史実を確認し、十分に検討すべきである。</p> <p>○歴史まちづくりに取り組んで1年半になるが、地域の方々の活動も増え、いろいろな取り組みで盛り上がってきている。</p> <p>○大館の風景などのフォトコンテストは、これからも継続すべきである。</p> <p>○まちづくりを進める中で、高齢者などに優しい休める空間づくりを考えてほしい。</p> <p>○市職員が歴史まちづくりを説明、紹介する出前講座が増えてきていることは良い。</p> <p>○点在している歴史的建造物を線として繋げるには交通アクセスが重要であるので、パークアンドライド的に離れた箇所からの巡るルートも検討してほしい。</p> <p>○大館周辺にはたくさんの観光地があるが、大館を通り過ぎるだけではなく、大館に滞在できる仕組みを他市との連携を進めるべきである。</p> <p>○桜櫓館の耐震改修にあたり、進捗にあわせ協議会や建造物部会で協議を重ねてほしい。</p>	
<p>(今後の対応方針)</p> <p>○城門跡の名称や位置については、歴史的風致維持向上協議会委員のご協力をいただき整備を進めていく。</p> <p>○重点区域以外の歴史的建造物についても、民間団体と連携を図り、保全や活用に向け調査を進めていく。</p>	